



第53回 関西学院史研究会

関西学院と寿岳文章

—宗教的真理の追究—

関西学院に学び、教えた寿岳文章氏（1900-92）は英文学、書誌学、和紙研究、ダンテ『神曲』翻訳などの異分野を横断し、顕著な業績をのこした学際的な存在です。

人生の指標を宗教的真理の追究に求め、平和を希求した寿岳氏にとって関西学院はまさに母校でした。

本講演では戦前から戦後を生き抜いたひとりの知識人の姿をともに検討してみたいと思います。

● 講 師 ●

中島 俊郎 氏

(なかじま としろう)

甲南大学文学部教授(イギリス文学専攻、1993-2019)、甲南大学名誉教授、日本ヴィクトリア朝文化研究学会会長(2019-)、NPO 向日庵理事長(2017-)

2022 11 / 4 (金) 13:20～15:00

大学図書館・地下1階 大学図書館ホール

(西宮上ヶ原キャンパス)

無料・一般参加歓迎・申込不要

主 催

関西学院 大学博物館 学院史編集室

0798-54-6022